

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 25

コリント人への第二の手紙において (3)

和解の意義

聖書：Ⅱコリント 5:14-21. 6:11-13

- I. わたしたちはキリストを、神に対する和解の手段として経験し享受することができま
ず——ローマ 5:10. Ⅱコリント 5:14-21。
- II. わたしたちが完全に神に和解させられるには二つの段階が必要です—— 19-20 節：
- A. 和解の第一段階は、罪人を罪から神に和解させることです—— 19 節：
1. このために、キリストはわたしたちの罪のために死んで、彼らが神に赦されるよ
うにしました—— I コリント 15:3. ルカ 24:46-47. I ヨハネ 2:12。
 2. これはキリストの死の客観的な面です。この面において、彼は十字架上でわた
したちの罪を担い、それが彼の上でわたしたちのために神によって裁かれるよう
にしました—— I ペテロ 2:24. イザヤ 53:11-12. ヘブル 9:28. コロサイ 1:22. ロー
マ 8:3。
- B. 和解の第二段階は、天然の命に生きる信者たちを、肉から神に和解させることす
——Ⅱコリント 5:20：
1. このために、キリストはわたしたち、人のために死んで、わたしたちが復活の命
の中で彼に生きるようにしました—— 14-15 節。
 2. これはキリストの死の主観的な面です。この面において、彼はわたしたちのため
に罪とされ、わたしたちが神に裁かれ廃止されて、彼の中で神の義となるよう
にしました—— 21 節。
 3. わたしたちはなおも神から分離されているので、また完全に神と一でなく、絶対
的に彼と調和されていないので、第二段階の和解を必要とします—— 20 節。
- C. 二段階の和解は幕屋の二つの幕で描写され、そのいずれも唯一のキリストを表徴し
ます——出 26:31-35, 37. ヘブル 9:3：
1. 第一の幕は「とばり」と呼ばれます——出 26:37：
 - a. なだめる血の和解を通して神にもたらされた罪人は、このとばりを通して聖所
の中に入ります。
 - b. これは第一段階の和解を予表します。
 2. 第二の幕はなおも罪人を、至聖所にいる神から分離しました—— 31-35 節. ヘブ
ル 9:3：
 - a. この幕は裂かれて、罪人が至聖所の中の神にもたらされる必要があります——マ
タイ 27:51. ヘブル 10:19-20。
 - b. これは第二段階の和解を予表します。
 3. Ⅱコリントの目標は、信者たちを至聖所の中へともたらして、彼らが霊の中で神
と共に生き、霊の中の人となることです—— I コリント 6:17：
 - a. コリント人へ救われて半分、神に和解させられていましたが、まだ肉の中に生

きていました。すなわち、彼らは魂、外なる人、天然の存在の中に生きていました。肉の幕、天然の人の幕はまだ彼らを神から分離していました—— 2:14-15。
ヘブル 10:19-20。

- b. わたしたちは第二の幕を通過してはじめて、徹底的に神に和解させられ、完全に彼を享受することができます—— II コリント 5:20。

III. キリストはわたしたちの罪のために死んで、わたしたちが赦されるようにし、彼はわたしたちのために死んで、わたしたちが彼に生きるようにしました—— I コリント 15:3. II コリント 5:14-15 :

A. キリストの死はわたしたちを死から救って、わたしたちが死ぬ必要がないようにしただけでなく、彼の復活を通して、わたしたちがもはや自分自身に生きないで、彼に生きるようにしました :

1. 自分自身に生きるとは、わたしたちが自分の制御と指示の下にいて、自分の目的と目標を顧みることを意味します。
2. 主に生きるとは、わたしたちが主の制御と指示の下にいて、彼を満足させ、彼の定められた御旨を成就するのを願うことを意味します—— 15 節。

B. 主に生きることは、主のために生きることより意義が深いのです——ローマ 14:7-8 :

1. 主のために生きるとは、わたしと主がまだ二であることを暗示します。
2. 主に生きることは、結婚生活で妻が夫と一であるように、わたしが主と一であることを示します。

IV. 神に完全に和解させられることによって、わたしたちは心の中で広くなります—— II コリント 5:20. 6:11-13 :

A. わたしたちの心がどれほど大きいかは、わたしたちが神に和解させられている程度によります。

B. 心の狭さは、わたしたちが部分的にしか神に和解させられていないということと、わたしたちの救いの割合がとても低いということを強く示します—— 12 節。

V. 和解の務めを通して、わたしたちはキリストの中で、拡大された、宇宙的な、神性と人性の合併となります——ヨハネ 14:2, 20, 23 :

A. 結果として、わたしたちは神の聖なる所、神の住まい、神の至聖所、すなわち新エルサレムとなります——啓 21:2, 10, 16。

B. 雅歌において、わたしたちは、自己を砕くことと、より深い意味で肉を対処するという十字架の対処の二つの面を見ます—— 6:4 :

1. この聖なる所は、至聖所、すなわち神ご自身です。
2. わたしたちが至聖所の中へと入るとき、神の中へと入り、それからわたしたちは神の聖なる所となります。この意味において、わたしたちは神となります。
3. 神にわたしたちと結合し、ミングリングし、合併することを切望させるのは、神の中にある愛であり、わたしたちに神と結合し、ミングリングし、合併することを切望させるのは、同じ愛です。最上の愛をもって主を愛することによって、わたしたちは三一の神と合併されて、彼の住まいとなります—— II コリント 5:14.

I ヨハネ 4:19, 8, 16. 啓 2:4. ヨハネ 14:21, 23. エペソ 3:17。